

## ■トレジャーハンター#4■

### 【内容】

客のカードが2枚のQの間にはさまれ、デッキの中に戻されますが、一瞬でJとKの間に出現します。

### 【準備】

なし

### 【演技】

「トレジャーハンターを知ってますか。宝探しを職業とする人達のことです」デッキを表向きに広げ、「ここに3組のトレジャーハンターがいます」そう言いながら、黒いK、黒いJ、赤いQを2枚ずつアウトジョグして、表向きの上からQ、J、Kの順に並べ、揃えて表向きでテーブルにおく。

「彼らのことはあとで紹介します。彼らが狙っている宝を決めましょう」

デッキを客の方に裏向きに広げ、二人の客に1枚ずつ抜いて覚えてもらいます。（右の客をR、左の客をLとします）デッキを揃え、トップカードの下にブレイクしておきます。

2枚を受け取り、裏向きのまま不揃いの状態でトップにおきますが、右の客のカードを上にしします。揃えるという動作の中でトップカードを付け加え、ブレイクから上の3枚を2枚のカードのように取り上げます。もう一度確認しましょう、と言って右手でビドルグリップに持ち、トップカードを左の親指で引いて「こちらはRさんのカードですね」と言いながら3枚の下に入れます。揃えてから手をあげて相手の方に見せます。相手が確認したら（10Hとする）、そのままの状態を左手親指で引いて客が見ているカードの上（客側）にサイドジョグし、「こちらはLさんの選んだカードですね」と言い、左の客に確認させます。（6Sとする）。



※このように相手に見せるが（相手はカードの表側を見ている）、上側のカードは実際は2枚。左に飛び出ているカードは6S

左に突き出ているカードがデッキに揃うように2枚（実は3枚）をデッキの上におきます。カードケースに右手を伸ばし、テーブルの真ん中あたりに横向きにおきます。そのとき、左のデッキは片手でいったん揃えてしまいます。「これは大事な宝なので、ここに置いておきましょう」と言って、トップ2枚をさきほどの状態と同じように広げ、順番を変えずに取り上げてカードケースの上におきます。

### （ケースの上）

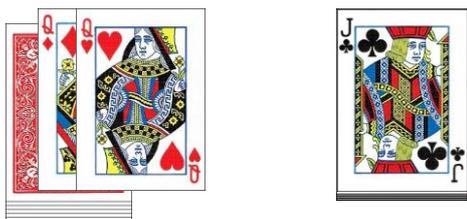


※さきほど客にみせたときと同じ状態に見えるが、今度は実際に2枚で、上は関係ないカード。下は10H。

テーブルの6枚を表向きで右手に持ちますが、左手のデッキのトップカード（6S）の下にブレイクしておきます。

6枚を少し広げた状態でトップにおき、揃えながら1枚シークレットアディクションします。

「6人は1つのチームです。まず女性チームです」上の2枚のQを順番に左親指で引いてデッキの上に2枚が表向きに広がっている状態にします。この2枚を右のポケットを使って同時にひっくり返します。



1枚のJを左親指で引いてデッキのトップにおき（右にサイドジョグ）、「ジャックチームが二人」と言いながらもう1枚をさきほどのJの右にサイドジョグします。2枚のJが見えている状態から、2枚を右手の3枚でデッキの上に裏返します。

上のKを引いて最後のK（裏に6Sがついている）の下にまわし、2枚が広がっている状態で右手で持ちます。このまま3枚を揃えてひっくり返し、「キングチームです」と言ってテーブルにおきます。

次の2枚をサイドジョグした状態でとり、表を見せて2枚のJであることを示し、2枚を揃える動作で1枚をトップに戻し、1枚だけを「ジャックチームです」と言って2枚のように思わせて、テーブルのポケットの上に重ねます。

次の2枚もJと同じよう取りますが、さらにトップカードの下にブレイクしておきます。右手にとった2枚を揃える動作の中でトップカードを追加します。デッキはテーブルにおきます。

【客から見た状態】

（客側）	（見た目）	実際は
A		
B	（A・・・客の2枚）	A・・・上がXカード、下が10H
デッキ	（B・・・下K 2枚、上J 2枚）	B・・・下から、K、表向きの6S、K、J

「クイーンチームが先に宝を発見しました」。3枚を表向きにして2枚のQのように広げ、ケースの上の2枚を示して、「ここでクイーンチームは仲間を裏切りました」と言います。

3枚を揃えて一番下のカードをバックルします。（Jを見られないように気をつける）。ケース上の2枚をボトムカードの上に入れます。相手からは2枚のQの間に裏向きのカードを入れたように見えなくてははいけません。また、裏向きの2枚は上のカードを奥に少し押しこみ、2枚がずれているようにします。

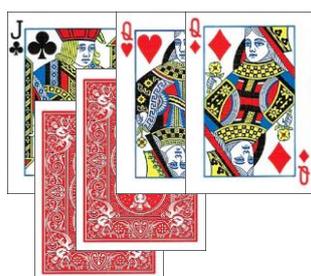
見せている状態

（演者側。マークは違う場合もある）



実際の状態

（上から3枚目はXカード）



客が見ている状態



「宝を独り占めしてしまったのです」と言いながら、裏向きのカードがインジョグされた状態で5枚の横をしっかり揃え、右の親指を上、残りの指を下にして、ピンチグリップのように持ち、立てるようにして、裏を見せません。

手を戻して裏向きのカードを押しこみますが、一番手前にインジョグされたカードを少し下に押し下げて、この上に親指でブレイクしておきます（ボトム2枚の上）。左手でデッキを持ち、ポケットを重ねますが、ブレイクを保持します。デッキの下半分を左手でとってテーブルにおき、さらに残りのデッキの下半分をトップにまわし、ブレイクから上と揃えて、テーブルのポケットの上に重ねます。

「そしてクイーンチームはどこかに逃げてしまいました」と言って持っているポケットをテーブルのポケットに重ねます。（トップカードが6S、2枚目が表向きのJ。Q2枚はデッキの中ほどに表向きになっている）

「怒ったのはキングたちです」

4枚のポケットを持って、そのまま表向きにし、「クイーンの行方を捜しました」と言ってデッキの上におきます。

デッキ全体を取り上げ、手前をリフルしてすぐにトップ6枚を広げると、KとJの間に1枚ずつ裏向きのカードがはさまっています。上の3枚を広げたままテーブルにおき、その隣りに次の3枚をやはり広げた状態でおきます。

「協力し合って何か見つけたようです。クイーンはどうなっているでしょう」

残りのデッキをテーブルスプレッドします。赤いQが2枚並んでいます。「クイーンチームが持っていった宝は消えています。お二人の覚えたカードは何でした？」

相手が答えたら、JとKそれぞれの間の裏向きのカードを抜いて表向きにします。6Sと10Hです。

それぞれを元のJとKの間に表向きに差し込み、

「見事、奪還に成功しました」と言って終わります。